

**令和 3 年度
奈良県保健研究センター及び奈良県景観・環境総合センター調査研究評価委員会
(概 要)**

1 開催日時 令和 4 年 3 月 18 日(金) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

2 開催場所 奈良県保健研究センター1F 会議室
奈良県桜井市粟殿 1000 番地
(Web システムを使用した遠隔会議にて開催)

3 出席者
多賀委員長、須崎委員、山田委員、上田委員(以上、外部委員)
堀所長、小森所長、榮井副所長、山下課長、上統括主任研究員、
内田統括主任研究員、山崎統括主任研究員、伊吹統括主任研究員、
城山統括主任研究員、竹田主任研究員、杉本副主幹、辻本主任研究員、
徳田総括研究員、本間主査、その他両センター職員

4 議 題

(1)調査研究課題結果報告

- ①総アフラトキシン検査体制の確立と実態調査
- ②奈良県における大気粉じん中の形態別ヒ素測定法の確立
- ③環境中のメフェナム酸の分析法開発及び実態調査

(2)総評

5 公開・非公開の別

議題(1)、(2): 非公開

(理由: 審議会等の会議の公開に関する指針 3 のイに該当)

6 議事内容

(1)調査研究課題結果報告

3 題の研究課題結果について各主任研究者から報告、及び各委員からの
質疑応答があった。

(2)総評

- 3 題の研究課題結果の報告に対する各委員からの総評があった。
- ・コロナ禍で継続した分析をきちんとできているところに大きく感動した。
 - ・せっかくすごいことをされているので、もっとここが新しい、ここが他とは違うということをもっとアピールをしてほしい。
 - ・いろんなバックグラウンドをお持ちの方へ、わかりやすい説明を加えると、より理解が深まると思う。
 - ・県内で生活に欠かせないものに問題がないのかという視点で、実態調査を行われていることに奈良県民としては大変嬉しく思う。
 - ・ぜひ、これからも引き続き行っていただければと思う。